

<h1 style="font-size: 4em; margin: 0;">潮 陵</h1>	学校だより 第 1 号	教育目標
	平成 28 年 4 月 27 日	『ふかく考え、豊かな心を養い、たくましく実践する生徒』
	上越市立潮陵中学校	目指す生徒の姿 『ひとみを輝かせ、たくましく実践を積み重ねる生徒』

新年度のスタートにあたって

去る 4 月 7 日に平成 28 年度入学式が行われ、新たに 13 名が潮陵中生として仲間入りをしました。学級担任の呼名に大きな返事で応え、力強く立ち上がった姿は頼もしい限りでした。新たな力を加えた潮陵中学校が 3 年生のリーダーシップの下、どのように成長、発展していくのか本当に楽しみです。入学式の式辞で述べた一部を掲載しましたので、改めて潮陵中学校の目指すべき方向を確認していただければ幸いです。

【入学式式辞からの抜粋】

これから皆さんが学ぶ潮陵中学校には、大きな強みが二つあります。

まず 1 点目ですが、本校では、言葉での指示や説明以上に、行動や態度で示すという姿勢を大切にしています。特に生徒会活動においては、上級生が率先垂範することで、下級生も自分のやるべきことを自然に学び、身に付けていきます。この姿勢こそが、潮陵中学校が誇る伝統の根幹を成していると言えます。歌手の矢沢永吉さんがあるテレビコマーシャルの中で次のような台詞を語っていました。「夢を語る人にたくさん会ってきました。でもね、本当に何かを変える人は、口よりも先に動いていた。」この言葉が私には潮陵中生と重なりました。夢を口先だけの夢で終わらせず、行動で自分を変えていくという姿勢を、新入生の皆さんも是非、大切にしたいと願っています。

2 点目は、潮陵中学校が少数精鋭集団であるということです。本校の生徒数は、今日入学した新入生を加え、全校で 22 名となります。決して多い人数とは言えませんが、確かな志と目標をもった集団です。歴代の潮陵中生は、学習、部活動、生徒会活動等、様々な場面で輝かしい実績を残してきました。また、鮭の捕獲・加工体験に代表される各種体験活動は、他の学校には真似のできない潮陵中独自の伝統行事となっています。真剣な学習姿勢と心躍らす各種体験活動を通して、潮陵中生は心身共に大きく成長していきます。新入生の先輩は 9 名ですが、潮陵中学校で切磋琢磨してきた 9 名です。この後の校歌の歌声や新入生歓迎の群読で先輩たちのもつ力的一端が見られるはずです。どうか、この素晴らしい先輩たちを最も身近な手本として明日からの学校生活を送ってください。

今日の入学式にあたり、新入生と在校生の皆さんに作家の伊集院静さんの言葉を贈ります。「今の君は、若い一本の樹だ。幹も細く、遠くを見渡す丈も十分ではない。でも、根っこからいろんなものを吸収し、夏の暑さや凍える寒さに耐え、青空に向かって伸びてきた。学校は、そんな樹たちが集まった森なんだ。皆ですばらしい森をつくろうじゃないか。森は新しい力を、君という樹を待っている。同じ形の樹はいらない。個性ある君という樹が欲しいんだ。いろんな樹が集まった森はずっと生き続ける。」この言葉のように、個性溢れる 22 名が自分の良さを発揮し、豊かな森とも言える潮陵中学校を築いていきましょう。

潮陵中学校では、昨年度に引き続き「ひとみを輝かせ、たくましく実践を積み重ねる生徒」を重点目標として掲げ、生徒の着実な成長を目指します。その際に、昨年度、谷浜小学校と共に作成した小中一貫教育グランドデザインを基に、9 年間に渡る学びの連続性を大切にすると共に、この地域ならではの心躍らす体験活動を積極的に導入し、学校、家庭、地域が一体となった教育活動を展開してまいります。

(文責：松縄)